



【学校教育目標】

心豊かにたくましく生きる子供の育成

くめざす児童像>

敬愛 互いの「よさ」を認め、思いやりの心をもつ子

剛健 すすんで心身をきたえ、明るく希望に燃える子

修学 自ら学び考え、全力を尽くす子



謹んで新年のお慶びを申し上げます

新しい年を迎え、皆様には穏やかな年明けを迎えられたことと思います。

今年度も、保護者や地域の皆様の授業参観、体育大会等の学校行事や各学年の発表会等への多くの参加を得て、児童のやりがいを高めていただいておりますこと、本当にありがたいことと思っております。家庭や地域との連携を図る中、これらのことをはじめとして、保護者の皆様の学校へのお声がけが、学校の勢いを増すことにつながっております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、1月になり、各学年とも締めくくりの段階に入ります。子供たちはこの節目の中で、「今年こそは」と、新しい年の夢を描いたり目標を立てたりしていると思います。それぞれの学年や立場に応じた夢や目標の設定は、その後の成長に重要な役割を果たします。

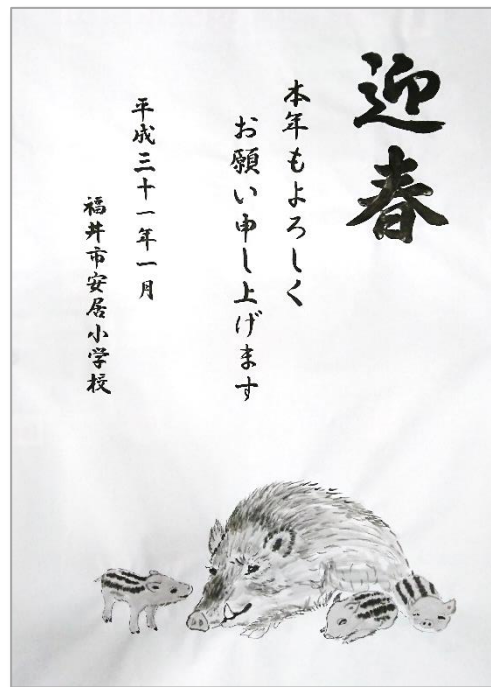
6年生はあとわずかです。残された小学校生活の締めくくり方が重要です。締めくくりがよければ、新たな進路先での活動も充実したものになります。5年生は6年生に代わって最高学年としてのたらしきが求められます。安居小学校の顔としての気概をもつとともに学校をリードする力をつけていかなければなりません。

どの学年も、今年度の学年初めの「ホップ」で勢いよくスタートし、いくつもの階段を昇ってきた「ステップ」を経て、1学年上への進級に備えた学びのステージ「ジャンプ」の時期を迎えます。安居小学校の一人一人が、学年のみんなで心を合わせて、学習や生活のまとめを仕上げてほしいと思います。

テレビや新聞等で、各界で活躍している方が子供の時に夢や希望をもって、それに向けて努力したということがよく紹介されます。そういう方たちは、時にはあきらめたり方向転換したりしても、その時々新たな夢や目標を設定しています。夢や目標に向かって努力し続ける姿勢が、その人を成長させ、確固たる成果を生み出していくのです。

新しい年、各家庭で夢や希望についての会話を心掛けてみてください。目的意識を高くもった子供ほど確かな成長をします。子供の成長は何気ない日ごろの努力の積み重ねによって成し遂げられるのです。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



12/12 にこにこ交流会

4年生が公民館で高齢者の方々と交流しました。劇や紙芝居、クイズ、ゲーム等、入念な準備を経て、当日は楽しいふれ合いの時間をもつことができました。



お知らせとお願い



学校では、衛生管理上、欠席の時などに給食を持ち帰らない事になっていますが、調理実習についても同じようにします。また、アレルギー等の配慮から、旅行のお土産のお菓子類も配布しないようにしますので、どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。その分、お土産話をお聞かせください。冬休み前にお知らせできるとよかったのですが、遅くなりご迷惑をおかけした方には申し訳ありませんでした。

今年は、亥年です。そこで、イノシシにちなんだ昔話を用意しました。

ある山に住む動物達が、夜の暮らしを見守ってくださるお月さんに感謝の気持ちを示そうと、芸をしてお月様に見てもらおうということになったんやと。

動物らがそれぞれ、自分の得意な芸の話をしている中で、猪だけは、「俺にはお月さまに観て頂く芸がねえんや。」

としょんぼりしていたんやと。それを見た動物らは、

「お月さまに怒られても知らんぞ。」

「芸なしは仲間にせんわ、早く帰んねや。」

と猪をのけ者にしたんやと。

猪はうちに戻って、弟の猪に事の次第を話し、

「お月さまに申し訳ねえなあ。」

と泣いたんやと。ほうすると弟の猪は、

「兄貴、ぼくらにやってえ、できる事があるぞ。」と言ったんやと。

ほんでえ、十五夜の晩、動物らはお月さまに見ていただくために色々な芸をしたんやと。兎は「月見の餅つきを見せたげる。」と言って、ぺったん、ぺったん「杵つき踊り」、狸は、「おれの腹づつみはすごいぞ。」とポンポコ、ポンポコ「腹づつみ」、狐は狐火を操る芸を、猿はそれらの芸をそっくり猿真似して見せたんやと。

でもお月さまは少しも喜んだ素振りを見せんかったんや。動物らは

「どうすればお月さまは喜んでくれるんやろ。」とすっかりしょげてしまったんや。

そんなとき、その反対側の山では、猪兄弟がお月さまに向かってこう言ったんや。「ぼくらあ、何も芸がないんやけど、せめて力いっぱい相撲を取ってお見せしますので、どうか見てください。」

そして、猪兄弟は山の上の土俵で、力いっぱい相撲を取ったんや。その一生懸命さにお月さまは熱心になって見てなったんやけど、やがて「わっはっは、のこったのこった！」とでっけえ声で笑いだしたんやと。

これを見た他の動物らは「何でやろ」と思て山に来て、文句を言ったんや。するとお月さまは動物らに向かって、

「自分の自慢ばかりして、他人を悪うゆうたり、わろたりしたらあかん。例ええ芸がのうても、一生懸命相撲をとって見せる、この姿勢こそが大事なんや。」とゆうて叱ったんや。



それから、十五夜の夜には、猪兄弟が相撲をやってるんやと。 おしまい。

安居小学校のみなさんも、友達のことを悪くいったり笑ったりしないで、やさしく声をかけてあげられる人になってほしいと思います。

そして、新しい年は、このイノシシの兄弟のように、夢や目標に向かって、自分がもっている力で一生懸命に取り組みましょう。

生徒指導より

朝礼の中で、生徒指導主事の山本教諭より「あごっこ3つの心」について、今年を振り返り、来年度に向けて準備をしようという話がありました。

育ってほしい3つの心は次の通りです。

「あいさつをしようとする心」…目を見て、笑顔で、元気よく、自分から。

「友だちとなかよくする心」…相手を思いやる心と言葉遣い。

「きまりをまもろうとする心」…廊下を歩く、時間を守る、当たり前ができるように。ご家庭でも、様子を聞いてみてください。

